

会議録

会議の名称	平成28年度第2回加東市子ども・子育て会議
開催日時	平成29年3月22日(水) 午後3時から午後4時30分まで
開催場所	加東市役所501号会議室
<p>議長の氏名 (会長 名須川知子)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】 13人</p> <p>名須川知子委員 片山弘文委員 山城あゆみ委員 内藤博祥委員 木村香奈子委員 佐々木正利委員 伊村晶子委員 野瀬光委員 赤坂和美委員 上月尚子委員 安田末子委員 神戸成企委員 岸本知哉委員</p> <p>【欠席委員】 2人</p> <p>松本秀憲委員、北野美智子委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>	
<p>【出席した事務局職員の氏名及びその職名】</p> <p>教育委員会 教育部長 堀内千穂 学校教育課 主幹 藤原良二</p> <p>福 祉 部 福祉部長 丸山芳泰 子育て支援課長 山本京子 同副課長 壺井初美 同主幹 稲岡めぐみ 同主査 高田 篤</p> <p>【議題、会議結果、会議の経過及び資料名】</p> <p>1. 議題（議事）</p> <p>(1) 平成29年度における就学前教育・保育の状況 (2) 平成29年度の新規事業等について</p>	

2. 会議結果

(1) について

資料に基づき審議しました。

(2) について

資料に基づき審議しました。

3. 会議の経過

(事務局)

- ・開会挨拶（福祉部長）
- ・資料確認

【議事（1）平成29年度における就学前教育・保育の状況】

《事務局から資料①に基づき概要説明》

(会長)

来年度から東条保育園が認定こども園に移行され、東条地域にも認定こども園が誕生します。幼稚園ニーズに対応する施設ということで、大変期待されると思います。

また、市内全体の入所予定人数も1号認定が大きく増加しているところから、認定こども園の周知が進んだことで利用者が増加し、保護者の多様なニーズに応える結果になっているのではないかと思います。

入所状況は、0・1・2歳がほぼいっぱい、3・4・5歳は定員の空きがある、待機児童はゼロということですのでよろしいですね。全国的に見ても、非常に理想的な姿じゃないかなと思います。

では、この資料1につきまして、ご意見・ご質問がありましたら、よろしくお願ひします。

(会長)

特にないようですので、議事（2）に移ります。

【議事（2）平成29年度の新規事業等について】

《事務局から資料②に基づき概要説明》

(会長)

来年度に市が取り組む子育て施策のうち、トピックス的なものについて説明がありました。どれについても結構ですので、ご意見・ご質問はありませんか。

(委員)

1番の幼児教育について、事件やトラブルを考えるとときに、その当事者の人間性、そういうものに非常に問題を感じる時があり、幼児教育の必要性を感じています。

資料には、「質の高い幼児教育」という文言がありますが、「質の高い」というのは、今までの幼児教育と比べてどういう違いがあるのでしょうか。

(事務局)

この制度は、保育料のうち幼児教育部分を助成することで、幼児教育施設を利用していただきやすくするためのものです。

(委員)

ということは、カリキュラムを変えるのではなく、施設に来て教育を受けてもらいやすくするという事なのですね。

私は、「質の高い幼児教育」ということで、今までの教育とは違う、質の高いものを加東市が考えていくというように捉えていました。

(事務局)

加東市内の各園では、それぞれ独自のカリキュラムを作成されて、質の高い教育を提供されています。

今回のこの事業は、そうした施設を利用していただく機会を拡充するための事業となります。

(会長)

もともと加東市の幼児教育は、他市町と比べても非常に質が高いです。ですので、この施策は「すべての子どもが」というところがポイントでしょう。

これまでは保育所だったから利用できなかったご家庭でも、認定こども園になったら利用できるようになります。さらに、幼稚園も保育所もあり、子育て支援ルームもある。非常にたくさんの種類から選べます。ですので、園ごとに特色はあっても構いませんが、どの園もやはり一定のレベルが必要となります。

ちなみに、学問的な観点からいうと、世界で一番優れているのはニュージーランドやスウェーデンです。

(委員)

いま会長が話されたニュージーランドや北欧のような、優れた幼児教育を取り入れていくとする施策かと思っていました。

(会長)

現状でも、そうされていると思います。私たち兵庫教育大学も加東市の研修には協力させていただいています。ですので、質の担保はご安心いただければと思います。

ただ、これで完全というのはありませんから、常に研究して改善していかなければならないと考えています。

(委員)

以前、保護者の方から「質とは一体何を言うのか」という質問があったように思いますが、十分な回答ができていなかったもので、ここで説明させていただきます。

1つは環境です。どういう環境の中で子どもを育てるのがいいのか、各経営者がどんな夢を持って施設をつくっていくのか、というのは大事な事だと思います。

もう1つは、やはり「教育、保育の内容」です。ですので、その内容をしっかり公開していくのが非常に大切な事だと思います。

加東市の場合、保育協会という組織があり、15園が所属しています。その中に研修部会があり、そこで取り組んでいます。

昨今、教育の中身というのを保護者や一般の方が誤解して捉えています。算数ができたり、字が書けるようになったりしたらすばらしい。それを教育と捉えている人が非常に多いのです。そうではなく、子どもが主体的に遊ぶ力、考える力、工夫する力をつけることが一番大事だと私たちは考えています。

そのために、私たちがどのように取り組むべきかテーマを決めて、そのテーマに沿って保育協会全体に対して公開保育を行っています。

(委員)

先ほどからの「質の高い幼児教育」についての議論を聞いて感じましたが、子育てで一番の基本になるのは家庭の保護者ではないかと思います。

子育てをしている保護者の質の高めるための具体的な方策を、もっと話し合うべきではないかと思います。

(会長)

そのとおりだと思います。我々が一生懸命頑張っても、保護者の態度が最後は大きいです。ですので、お子さんが小さいときに、保護者に対してそうした支援をするのが大事なことはないかと日々感じています。

加東市内には、4か所の地域子育て支援拠点があります。兵庫教育大学の子育て支援ルームでは、月1回程度、お子さんは託児をして、保護者に対して、子育ての大切さとか重要なポイントとか、そうしたことをお話ししています。

また、保育所や幼稚園が認定こども園になると、子育て支援の実施が義務になります。子育て支援は、保護者のかわりにサービスをするのではなくて、保護者の気持ちをきちんと支え、一緒に子育てを考えていこうとすることが大切です。そうしたことを色々と工夫されながら各園で取り組まれています。

今後、各園・各子育てひろばを含めて、さまざまな工夫やサポートをしていけたらなと思います。

(委員)

まず、子育て支援ということで先ほどお話がありました。私は児童館の子育てサークル代表としてこの会議に出席していますが、児童館や認定こども園の子育てひろば等にも参加しています。

他市に比べて加東市は手厚いというか、色々と考えていただいていると思います。実際に保護者として成長しているかどうかというのは私自身耳が痛いのですが、加東市には温かく見守っていただいているなというのを感じています。

それから、施策番号の21番について、「待機児童はありません」という説明でしたが、私の周りには実際に「希望の幼稚園に入れなくて、自動車で10分から15分かけて送っていく」とか、「本当は園に入れたかったけど、もう1年、自宅で見ます」というお母さん方がおられます。

「市内のどこかの園に入れば待機児童ではない」と言われても、実際に自動車で30分かけて通園するのはなかなかできないと思います。この状況で待機児童ゼロということにされてしまうと、同じ母親として切ない気持ちになります。

こうした状況は、今年が特別なのか、それとも今までもずっと一緒なのかということと、市として「仕方がない」と考えているのかお聞きします。

(委員)

入所申込の状況ですが、加東市子育て支援課で受け付けた入所申込者数を平成29年度と前年度と比較すると、約90人増えています。そのほとんどが0・1歳児です。

申し上げた待機児童ゼロは、国の待機児童の定義に基づいています。特定の園を希望される場合や、求職活動の実態が確認できない場合には、待機児童という定義の中には入れられません。加東市の端から端までは30分以上かかる地域もありますが、市内のどこかの園に案内できる場合には定義上、待機児童とできませんので、「ない」と申し上げました。

現在、特に滝野地域では入所希望者も多く、滝野地域の園に入園できないのであれば、

希望園で空くのを待ちますという方が実際におられます。

(事務局)

入所申込の際は、希望園を第1希望から第3希望まで書いていただきます。その園をすでに利用されている方がまず優先で、あとは保護者の勤務時間等を点数化して、高い順番から入園していただいています。

その中で、加東市としては、第1希望に入れられない方全員に電話連絡をして、全て調整させていただき、最終的に納得いただくよう努めています。

もちろん、このままで良いとは思っていません。平成31年度の新設こども園開園の時期には、待機児童が出ないようにと考えています。

また、各園にも、目いっぱいまで受け入れてもらっており、市・園とも、出来る限りのことはしていることはご理解いただければと思います。

《議事終了》

- ・事務連絡（委員報酬について）
- ・閉会挨拶（教育部長）
- ・閉会

4. 配付資料

- ・平成29年度における就学前教育・保育施設の状況…資料①
- ・平成29年度の新規事業等について…資料②及び別紙①～⑤

平成29年5月27日

会長 名須川知子

